

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年03月12日

計画の名称	鉄道駅等へのアクセス向上に資する道路整備及び既成市街地の改善													
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	広島市													
計画の目標	鉄道駅等周辺で施行される都市基盤整備に伴い、鉄道駅等へのアクセス向上及び既成市街地の改善を図るものである。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		4,058	A	4,058	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	R1末	R3末
1	鉄道駅等へ10分で到達可能な人口の拡大			
	鉄道駅等へ10分で到達できる人口の増加率（％） 増加率＝（10分で到達できる増加人口／事業完了時の10分で到達できる増加人口）×100 【事業完了時の10分で到達できる増加人口＝事業完了時の10分で到達できる人口（9.5万人）－現況の10分で到達できる人口（8.1万人）】	0%	86%	86%
2	土地区画整理事業を実施することにより、交通結節点としての都市空間の整備等を進め、既成市街地を改善			
	施行地区内において、使用収益を開始しかつ幅員6m以上の道路に接続した宅地の面積をもとに、交通結節点としての都市空間の整備等を進め、改善した既成市街地の宅地割合を算出する。 改善した既成市街地の宅地割合=Σ(使用収益を開始しかつ幅員6m以上の道路に接続した宅地面積)/Σ(施行後の宅地総面積)*100	36%	%	40%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	区画	改築	向洋駅周辺青崎地区（区 画整理）	（都）青崎中店線ほか L=566m	広島市	■	■	■	■	■	1,090	3.5	－	
	A01-002	街路	一般	広島市	直接	広島市	区画	改築	西広島駅北口地区（区画 整理）	（都）己斐中央線 L=172m	広島市				■	■	■	2,289	1.2	－
											小計							3,379		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	広島市	直接	広島市	－	－	向洋駅周辺青崎土地区画 整理事業	土地区画整理 6.1ha	広島市					■	■	199	1.30	－
	A13-004	市街地	一般	広島市	直接	広島市	－	－	西広島駅北口土地区画整 理事業	土地区画整理 2.9ha	広島市					■	■	480	1.30	－
											小計							679		
										合計							4,058			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
広島市 計画取りまとめ課 広島市 都市整備局 都市機能調整部 市街地再開発担当 要素事業担当課 広島市 都市整備局 青崎地区区画整理事務所 広島市 都市整備局 西広島駅北口地区区画整理事務所	令和6年3月
	公表の方法 広島市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	向洋駅周辺青崎土地区画整理事業 都市計画道路及び区画道路等の整備を行い、アクセス向上及び既成市街地の改善を図った。 西広島駅北口土地区画整理事業 都市計画道路及び区画道路等の整備を行い、アクセス向上及び既成市街地の改善を図った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	なし

○特記事項（今後の方針等）

本計画の西広島駅北口地区の道路事業を除く要素事業については、社会資本整備総合計画「鉄道駅等へのアクセス向上に資する道路整備及び既成市街地の改善（Ⅱ期）【重点】」、西広島駅北口地区の道路事業については、社会資本整備総合計画「鉄道駅等へのアクセス向上に資する道路整備及び既成市街地の改善（Ⅱ期）」へ移行し、引き続き計画を実施しており、鉄道駅等へのアクセス向上及び既成市街地の改善を推進することとしている。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	鉄道駅等へ10分で到達可能な人口の拡大		
	最終目標値	86%	関係機関等の協議に時間を要し、目標値まで達成しなかった。引き続き事業を進めることで、目標値に達成する見込みである。
	最終実績値	54%	
2	土地区画整理事業を実施することにより、交通結節点としての都市空間の整備等を進め、既成市街地を改善		
	最終目標値	40%	関係機関等の協議に時間を要し、目標値まで達成しなかった。引き続き事業を進めることで、目標値に達成する見込みである。
	最終実績値	38%	